

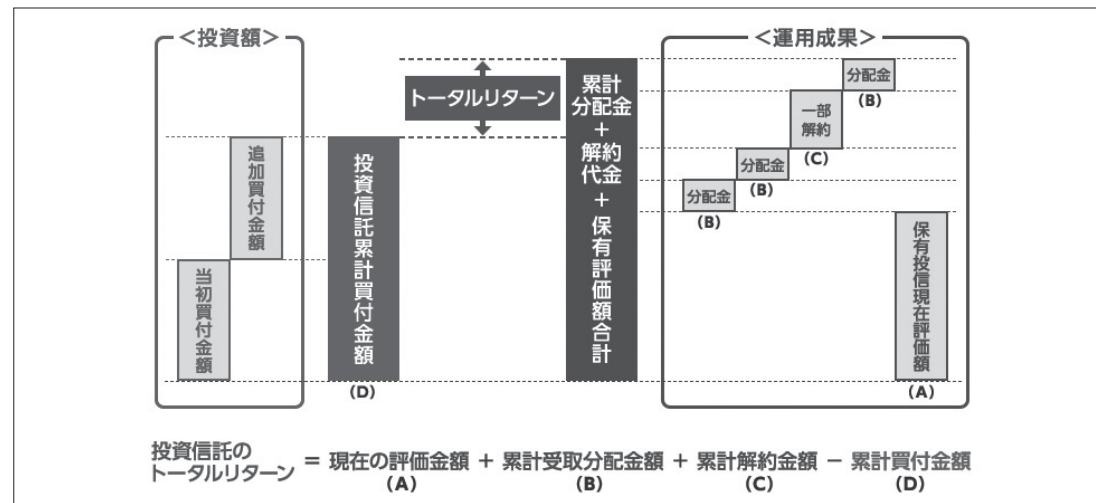
図表1 トータルリターンの表示画面

(A)現在の評価金額 (保有口数)	(B)累計受取分配金額	(C)累計解約金額	(D)累計買付金額	トータルリターン (A)+(B)+(C)-(D)
7,508,648円 (9,424,650口)	1,175,370円	0円	8,067,287円	+626,731円

基金名	分配金 コース	(A)現在の 評価金額[円] 保有数量	基準価額 [円]	(B)累計 受取分配 金額[円]	(C)累計 解約金額 [円]	(D)累計 買付金額 [円]	トータル リターン[円] (A)+(B)+(C)-(D)	詳細
日本株ハイインカム(毎月 分配型)ファンド(エンハイブ コース)	受取型	60,202 65,874口	9,138	20,121	0	60,000	+20,323	詳細
日本株ハイインカム(毎月 分配型)円コース	受取型	184,312 204,450口	9,015	13,151	0	200,000	-2,537	詳細
外国株ハイインカム(毎月 分配型)円コース	受取型	103,837 96,956口	10,720	2,349	0	100,000	+6,286	詳細
ラッセル新開国増強ファンド ファンドBコース(為替ヘッ ジ型)	受取型	148,675 142,778口	10,413	22,073	0	160,000	+10,748	詳細

①現在の保有ファンドのトータルリターンを表示いたします。
 ②算出日時時点で1口以上保有しているファンドが対象となります。
 ③対象ファンドすべての合計値を表示いたします。
 (A)現在の評価額+(B)累計受取分配金額+(C)累計解約金額-(D)累計買付金額=トータルリターン
 ④ファンド別のトータルリターンを表示します。

図表2 トータルリターンを説明する図解



楽天証券

トータルリターン通知制度の
実施に伴い、お客様に分かりやすくトータルリターンを伝える方法を模索している金融機関は少ないだろう。

ネット証券大手の楽天証券は他社に先駆けて2014年8月30日からウェブ上でトータルリターン通知サービスを開始。現在保有中の商品だけでなく、過去に取引のあったすべての商品のトータルリターンを通知するなどの工夫により、お客様の支持を集めている。

本稿では、楽天証券がトータルリターン通知サービスを先行実施

した経緯とサービスの概要、お客様に分かりやすく伝えるための工夫などについてレポートする。

楽天証券はトータルリターン通知サービスの実施にあたり、サービス内容の検討やシステム整備を1年ほど前から進めてきた。そもそもトータルリターン通知制度が制定された背景には、分配金と元本の増減を踏まえた投資信託全体の損益が投資家に分かりづらいという問題があったのだが、楽天証券においてもこうした状況に課題を感じていたという。

「分配金を含めた全体でいくら利益が出た・損をしたかが分かりにくい」というお客様の声は以前からありました。そうした中で本制度が実施される運びとなり、当社としても前向きに対応したいと考えました。そこで、いち早くお客様のご要望にお応えしトータルリタンの考え方をご理解いただくために、制度が実施される12月にタイムリを合わせるのではなく8月末のサービス開始を決めたのです。制度対応というよりもお客様にメリットのあるサービスのご提供と捉え、準備を進めてきました。

レポート・楽天証券に見る「トータルリターン通知サービス」のポイント

過去の取引データも対象に すべての損益情報を提供 図解や動画を用いた解説でお客様の理解を深める